

2010年3月9日

各 位

みずほ証券株式会社
チューダー・インベストメント・コーポレーション

東京証券取引所におけるハイ・フリークエンシー取引の開始について

みずほ証券株式会社（以下、「みずほ証券」）は、チューダー・インベストメント・コーポレーション（アメリカ合衆国コネチカット州法人、投資運用業。以下、「チューダー」）とシステム運用の分野で投資一任契約（以下、「契約」）を締結し、取引を開始いたしました。

みずほ証券は、東京証券取引所（以下、「東証」）の取引参加者として本年1月に稼働を開始した「アローヘッド」（注）に対応するため、高速かつ低レイテンシー執行（注）環境を実現した先進的なシステム基盤を、新たに構築いたしました。チューダーは、システムトレードにも長けた投資運用者として、執行アルゴリズムを含むハイ・フリークエンシー取引（注）に係る先進的なノウハウを保有しており、これをみずほ証券に提供します。

みずほ証券の杉井浩一郎エクイティグループ長は、「チューダーとの契約によって、みずほ証券の取引手法はシステム執行の分野で一層強化されたと認識している。また、みずほ証券が新たに構築したハイ・フリークエンシー執行システムの能力の高さを確かめることが出来た面でも意義深い。」とコメントしました。

チューダーのスティーブ・エバンス システムズ・トレーディング担当マネージング・ダイレクターは、「世界レベルの高度な執行システム基盤を構築したみずほ証券との連携による大きな相乗効果を喜んでいる。」とコメントしました。

- （注）「アローヘッド」 : 東証が本年1月に全面刷新し運用を開始した新株式執行システム。詳細については、東証ホームページにおける説明を以下の URL からご参照ください。 <http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/index.html>
- （注）低レイテンシー執行 : 取引参加者の発注から取引所での執行までに必要な時間を短縮した執行のこと。
- （注）ハイ・フリークエンシー取引 : 一般的には執行の為のアルゴリズムプログラムを使用することで、大量、高速、且つ高頻度の売買を行う取引のこと。

以 上